

上 田 勉

2006年日韓ワールドカップ 日本代表のキャンプ地

福島第一原発事故後は、廃炉作業の後方基地

“サッカーの聖地” Jブイレッジ 7月に再オープン

今、2018 サッカーワールドカップが、ロシアで開催されています。日本代表はコロンビアに大金星を挙げて、日本中を熱狂の渦に巻き込んでいます。

Jブイレッジは1997年7月、日本のサッカーのナショナルセンターとして開設しました。場所は、広野町と檜葉町にまたがっています。2006年ドイツワールドカップでは、日本代表のキャンプ地になりました。

2011年3月11日の福島第一原発事故によって、国道6号は、Jブイレッジから北は、通行禁止になりました。その後Jブイレッジは、福島第一原発の廃炉のための后方基地になりました。技術者や作業員は、Jブイレッジで防護服に着替えて、送迎バスに乗り換えて、福島第一原発を往復しました。国道6号は、往復する送迎バスで溢れ返りました。后方基地は、2017年3月で終了しました。その後、施設の復旧・復興の工事にかかっていました。

新生Jブイレッジは7月28日に再オープンします。全天候型練習場は、9月にオープンします・宿泊棟も増設されて、8月からの予約は、学生の合宿等で、約8割が予約済みです。私は、下水道や排水設備等の仕事をしているので、オープン前のJブイレッジの中に何回か入る機会がありました。国際的な宿泊棟なので、宿泊料金に比べて、豪華な仕様です。(被災した鉄路は廃線にするあのJR東日本が何と、)常磐線の電車が臨時停車する新駅を建設中なのです。“サッカーの聖地”として再オープンするJブイレッジは、檜葉町にとっても、復興のシンボルなのです。

5月30日、日本代表とガーナの交流戦が行われて、Jブイレッジではパブリックビューイングが行われました。私は、サッカーには余り興味がありませんでしたが、パブリックビューイングに行ってみました。結果は、0対2で日本の負けでした。しかし、160人の参加者がスクリーンに釘付けになって、熱狂して応援する雰囲気にはまっています。

6月19日には、「南相馬道の駅」でパブリックビューイングが行われたので、参加しました。日本対コロンビア戦です。最初の3分でコロンビアの選手がハンドでレッドカードを突きつけられました。コロンビアは1人少ない10人で、90分を戦い抜きました。結果は、2対1で日本が勝ちました。参加者は、日本のゴールには熱狂して、コロンビアのゴールにはため息をつきました。

ロシアと日本について考えました。チェルノブイリ(現ウクライナ)とふくしまは、共にレベル7の原発事故を起こしました。日本の首相もロシアの大統領も信用できませんが、反核兵器・反原発のために、両国の市民が交流できたらと思います。

【9月にオープンする全天候型練習場（Jブイレッジ）】



【日本対ガーナの交流戦のパブリックビューイング（Jブイレッジ）】

